

ゆるめあ

【理事長のあいさつ】

団塊の世代

【うまげな話】

「ビタミンB1の効能」

【健康ひろば】

「尿検査について」

【委員会活動紹介】

「摂食嚥下委員会」

【行事報告】

病院機能評価更新審査

永生病院介護体験

介護福祉士養成学校にて講義

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



団塊の世代

「団塊の世代」とは、戦後の1947年(昭和22年)から1949年(昭和24年)の第1次ベビーブームに生まれた人たちをさしている。出生数は806万人にのぼり、突出している。30年前に作家の堺屋太一さんが、通産省時代に発表した経済予測の小説の題名であった。最近「団塊の秋」という小説も発表されており、この2冊を読み比べると興味深いものがあるのかもしれない。人口ピラミッドにおいて、この団塊の世代の巨大な塊が戦後の経済成長を支えた頃はよかったけれど、高齢化し70歳代になる2020年には、社会保障費は134兆円に膨らむ予想であり、今後の財源確保は危惧されているところである。

確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋として、25年8月に発表された、社会保障制度改革国民会議報告書をうけて、26年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」においては、下記のように述べられている。

高度経済成長期に確立した「1970年代モデル」の社会保障から、超高齢化の進行等の環境変化に対応した全世代型の「21世紀(2025年)日本モデル」への改革が緊急の課題である。21世紀型の社会保障とは、すべての世代を給付やサービスの対象とし、すべての世代が年齢

でなく、負担能力に応じて負担し、支え合う仕組みである。持続可能な社会保障制度の確立を図るために、医療制度、介護保険制度を総合的に見直し、効率的な医療提供体制の構築、地域包括ケアシステムの構築を行う、とされている。

人口統計的に算出された数字でみると、社会保障費の増加の原因がすべてこの団塊の世代にあるかの様に表現されることが多いけれど、実際はどうなのだろうか、と考える。団塊の世代は、戦後の高度成長で頑張りがいのある時代を生きてきており、どこへいっても人数が多いため競争原理のもと過ぎてきている。他と同じではなく秀でようと上昇志向も強い。大学時代は学生運動がさかんな頃であり、種々のことに問題意識をもち熱くなる若者であった。このような世代が高齢者となった時、これまでの老人と同じような行動をするのだろうか？ やりがい、生きがいを求めて生きてきた人たちだから、健康長寿者は、地域包括ケアシステムにおいても支える側にいるのでは…。是非そうなって欲しいと考える。

理事長 森 伊津子

体の安心
情報板

健康ひろば

第23回
テーマ

「尿検査について」

健康診断や外来診察で、検尿を行うことは一般的ですが、どのような意義があるのでしょうか？尿検査は痛みを伴うことの無い簡便な検査で、多くの情報を与えてくれます。

① 尿たんぱく

腎臓病の発見やその進行度を知るのに役に立ちます。血液検査で腎臓が悪いことがわかるよりも先に、尿検査で腎臓の障害がわかることがあります。また、糖尿病が進行して腎臓が悪くなっていないかを調べることができます。

② 尿潜血

尿たんぱくと一緒に、腎臓病を見つけるのに役に立ちます。また、尿管や膀胱の障害や腫瘍で潜血がでることもあります。

③ 尿糖

糖尿病で血糖値が高い状態のとき、尿に糖が漏れ出ることがあります。その他にも体質で尿糖がでる方もごく稀にいます。

④ 尿白血球・細菌

尿路感染症(膀胱炎や腎盂腎炎)が起きているときこれらが尿検査で検出されます。尿路感染症は高い熱がでる原因にもなります。

尿検査はその時の体調変化(過労・発熱など)で異常がでることもあり、経過をみたり、24時間蓄尿などの詳しい検査を加えたりして診断に役立てます。過去の結果が参考になることもあります。結果に関しては医師の説明を受けてください。

内科 井上 章子

もしみなさんが、「あなたは嚥下障害です、もう口から食べられません」と言われたらどうしますか？
 当院では少しでも経口摂取の可能性があるなら、口から食べられるようになってほしい!と考え取り組んでいます。

医師をはじめ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・管理栄養士・歯科衛生士・介護福祉士・診療放射線技師・医事職員で構成している摂食嚥下委員会を設置し、月2回の委員会を開催しています。また、各病棟では毎週多職種でカンファレンスを行い、日常の嚥下状態を確認しています。

嚥下機能を評価するために、水飲みテストや食物テスト・嚥下造影検査を行います。嚥下造影検査では、バリウムを混ぜた食事や飲み物を食べていただきながら、透視下で嚥下状態を評価します。また、その方にあった食事形態や摂取方法、訓練内容などを検討します。一見うまく食べることができているように見える方でも、実は飲み込みに問題があるといった場合もありますので、早い段階で評価、対策を検討し、安全に食事をしていただけるよう取り組んでいます。全職員に対しても嚥下障害を早期発見できるよう教育・指導しています。



6月13日の四国新聞「香川の医療最前線」で当院で取り組んでいる摂食嚥下治療について掲載されました。

● 病院機能評価更新審査

平成26年5月13日(火)・14日(水)

5月13日～14日にかけて二度目となる病院機能評価の更新審査を受審しました。今回の認定更新から機能種別の審査となり当院は主機能として慢性期病院、副機能として一般病院の機能評価項目をサーベイヤーの方に審査していただきました。よい評価を得られた項目や課題点としてアドバイスを頂いた項目のひとつひとつをしっかりと受け止め、今後も改善に向けた取り組みを継続し、質の高い医療を地域のみなさまに提供できるよう努めてまいります。



【第8回】～小さいけど大きなパワー～ ビタミンB1の効能

ビタミンB1というのは、糖質がエネルギーに変わる時に欠かせないビタミンです。また、脳の中枢神経や手足の末梢神経などを正常に保つ働きがあります。ビタミンB1不足は夏バテを引き起こすので、今回はこの「ビタミンB1」についてご紹介したいと思います!

ビタミンB1の主な効果効能

- 糖質代謝促進
- 神経機能維持
- 疲労回復

1日あたりの摂取目安量	男性	女性
成人	1.4mg	1.1mg
60歳以上	1.3mg	1.0mg

ビタミンB1を多く含む代表的な食品とは...

ビタミンB1を含む食品	含有量(mg)/100g中	ビタミンB1を含む食品	含有量(mg)/100g中
豚ヒレ肉	0.98	いりごま	0.95
ボンレスハム	0.90	うなぎのかば焼き	0.75
たらこ	0.71	焼きのり	0.69
そば粉	0.46	玄米ごはん	0.16

にんにくの香り成分と一緒にとると、ビタミンB1の吸収率がアップします。

うまげな料理カード 豚ヒレのノテー ネギソースかき 2人分

スタミナたっぷり 夏バテ防止!!

材料 豚ヒレブロック:200g 塩:こしょう:少々 片栗粉:適量
 にんにく:少々 ごま油:大さじ1
 【ネギソース】ねぎ:適量 醤油:大さじ1 酢:大さじ1
 砂糖:小さじ1 ラー油:少々 ごま油:小さじ1

- 作り方
- ①ヒレ肉を1cmぐらいの厚さに切り、塩・こしょうをする。
 - ②ビニール袋に片栗粉を適量いれて、その中に①のヒレ肉を入れ、よく混ぜ合わせる。
 - ③ごま油を入れたフライパンを熱し、みじん切りにしたにんにくを入れる。
 - ④香りがでてきたら、②のヒレ肉を炒める。
 - ⑤みじん切りにしたネギと調味料をすべて混ぜ合わせ【ネギソース】を作り、④の上からかける。

毎日暑い日々が続いていますが、この時期は集中力がなくなってイライラしたり、フラフラして食欲不振になったり、疲れやすくなります。睡眠・休息・栄養をしっかりとって夏バテを吹っ飛ばしましょう!!



健康によい野菜の摂り方で野菜をたくさん食べましょう! 栄養科



今年で3回目となる、介護体験を実施しました。5校の介護福祉士養成学校から、44名の参加がありました。実際の介護業務をはじめ、これからの介護職員に求められる喀痰吸引などの医療行為や人工呼吸器などの医療的な知識についての見学をしました。

参加した学生からは「粥ゼリーやお茶ゼリーの試食など、実習で出来ないような体験ができて良かった。」などの意見がありました。どの学生も熱心に参加しており、有意義な時間を過ごしてもらえたようでした。

病棟 介護福祉士

● 介護福祉士養成学校にて講義

平成26年5月8日(木)・9日(金)

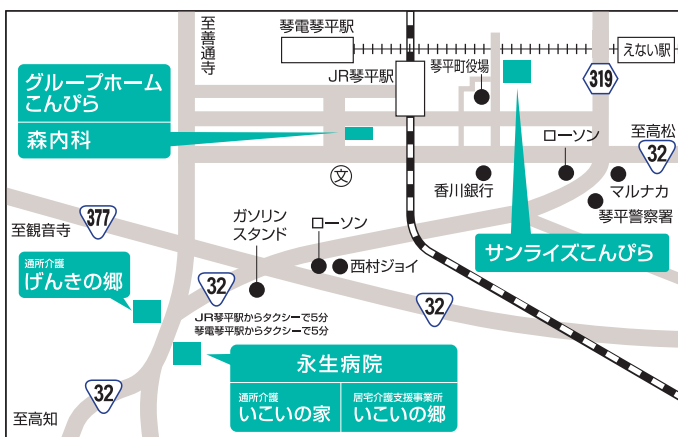
今回初めての試みとして、県内にある介護福祉士養成学校のうち2校で講義をさせていただきました。演題は「介護療養型医療施設で働く介護職員の仕事内容と役割」で、当院の施設や介護職員を参考に、介護療養型医療施設の必要性、そこで働く介護職員の重要性を学生に伝える機会となりました。



介護療養型病棟 介護福祉士

【編集後記】

永生病院は、昭和59年8月に開院し、今年でちょうど30年目を迎えました。この節目の年にパンフレットとホームページをリニューアルし、ホームページにはブログも開設します。ブログには、全国学会参加や病院機能評価受審など院内外の活動報告や、糖尿病教室・夏祭りなどの行事報告を皆様いち早くお伝えし、より身近に感じられるホームページにしていきたいと思っています。広報誌『ゆるめき』共々これからも宜しくお願い致します。



永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

医療法人 圭良会

- 永生病院
香川県仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所)
Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護)
Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護)
仲多度郡まんのう町買田102-1
Tel 0877-58-8811
- 森内科
香川県仲多度郡琴平町1167
Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら
(認知症対応型共同生活介護)
Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら
(小規模多機能型居宅介護)
香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第36号
発行元：医療法人 圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日：平成26年8月1日